

心豊かな暮らし

<http://www.yabashi.co.jp/house/>

縁_{en}

2017 Vol.44 autumn



季刊
縁_{en} 2017 Vol.44 autumn

contents

P 3 >>
矢橋林業の社員が建てた「矢橋の家」
家づくりのプロセスをレポート！

P 7 >>
「招」シリーズがリニューアルしました！
子育て生活応援住宅 子ども導線

P 9 >>
和・悠楽・招・欧
レジデンス昼飯に4つのシリーズが揃いました

P 11 >>
名古屋ショールーム 「三豊居」
武者小路千家 家元好み立礼卓 方円卓(ほうえんじょく)

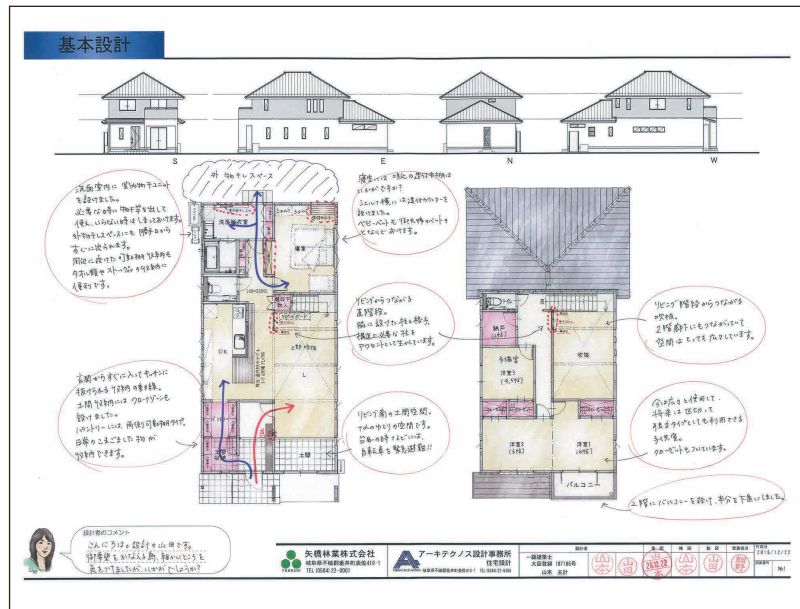
P 13 >>
My Garden
緑の中で自然に暮らす 岐阜県養老郡 K様邸／岐阜県大垣市 F様邸

連載
中山道赤坂つれづれの記 文/故 清水春一
谷木因(三)

心豊かな暮らし

表紙写真 牡丹園内 柿の葉
P.1 Y邸庭
P. 2 名古屋ショールーム「三豊居」





初期プラン



イメージパース

基本設計

吹き抜けが欲しい、寝室を1階にしたい、洗濯など楽に家事がしたいといった要望を伝えました。アーキテクト設計事務所で、敷地の形や採光、建物の強度などをしっかり考慮され、要望の入ったプランが出来上がりました。この初期プランを基に更に打ち合わせを重ねました。

私は仕事で図面や建物を見ることがあり想像ができましたが、夫は図面ではイメージが出来ないと困っていたところ、シミュレーション体験をして、空間のイメージをパースで見て確認することができました。

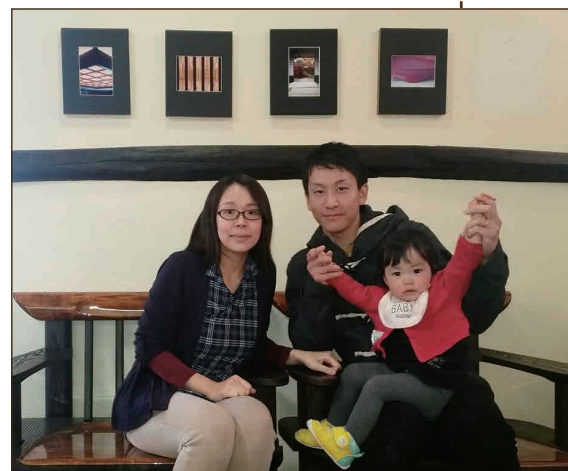
矢橋林業の社員が建てた「矢橋の家」

家づくりのプロセスをレポート！



イメージパース

社員のプロフィール
管理本部所属 北川陽子。
会員の夫、2歳の娘と3人家族。



記念品：万年筆

契約

いよいよ契約です。入社以来、矢橋の家づくりを間近で見て来たので、ついに自分の家かと思うと感慨深いものがありました。

記念品の万年筆は、初めての書き味で、ドキドキしながら名前を書きました。



矢橋グループ本社 応接室

実施設計

営業担当と一緒にキッチンやお風呂のショールームへ行き、仕様や色を決めました。

外壁の素材、あかりの種類、クロスの柄など細かいことも決めました。クロスは矢橋グループ本社の応接室に使用されている「ウィリアム・モリス」の壁紙をどこかに入れたいと思っていたので、ポイントとなる壁面に入れました。

間取りや仕様を全て決めて出来上がった実施図面は感動しましたが、同時にこれで本当に大丈夫かなと毎日図面を見ては確認していました。

見積り

地盤調査・改良、建物、庭づくり…家が建つまでの全てを一貫してお願いできるので、見積りも分かり易かったです。

他に費用がかかったのはカーテン工事くらいでした。十分な資金があるわけではなかったのですが、安心できました。



土地探し

家を考え始めてからは、岐阜市を中心に広範囲で土地を探していましたが、なかなか思い通りの土地が見つからず…

ある日、アパートの近くを娘と散歩していたら、偶然にも理想の土地が見つかり、ここだ！と運命を感じて決めました。

土地購入の際には営業担当等が住宅ローンに関するアドバイスや、不動産会社・銀行とのやり取りをサポートしてくれました。

地盤調査・測量

田んぼだった場所を分譲地にした土地だったので、念入りに調査してもらい安心しました。

どこまでが自分の土地になるのか、よく分かりました。



工場見学会

私は普段から矢橋グループ改善大会に参加するなど、プレカット工場の努力を見ていましたが、これを夫に見せたいと思い、工場見学会へ参加しました。

夫は自らの手で、在来工法と金物工法の強度をジャッキを使用して比較し、金物工法の強さを楽しんで実感していました。



モデルハウス見学

悠楽モデルハウスがオープンした時から、自分がもし建てるなら悠楽シリーズが良いと憧れていました。

一緒に見学に行った夫も悠楽を気に入ってくれました。

引渡式

ついに家が完成しました！感動のテープカットを行いました。玄関に入ると市松模様のフローリングとウィリアム・モリスの壁紙が出迎え、お気に入りの空間です。

引越し

悠楽の家に合うように…と数ヶ月かけて探した家具が順番に届きます。これから始まる新生活が楽しみです。

上棟式

大工の皆さんに挨拶をした後、塩と酒をまき清めると、棟上げがスタートしました。あっという間に柱が立ち、午前中には1階が出来ていました。記念として柱にピン打ちの体験をしましたが、私たちは、ピンを一本打つのに30回以上ハンマーを打ちました。ほんの数回で打ち込む大工さんの力に感動しました。ピンに当たらず柱に出てしまった失敗跡もいい思い出です。夕方には屋根まで出来上がり、一日で家が建ちました。

新生活が始まる！

※ 引越し後の新居は、次号季刊誌 Vol.45 にて紹介します

引越し

引渡式

庭づくり

木工事
その他

上棟式

基礎工事

地盤改良

地縄張り
地鎮祭

8月

6～8月

6月

5月

2017年4月

心豊かな暮らし

イメージパース

庭づくり

自然豊かな土地に生まれ育ったものの、庭を持ったことがなく、緑のある暮らしに憧れていたので、樹木や花をたくさん取り入れた庭を希望しました。初めての庭でも手入れしやすいよう、樹形が整いやすいなど手入れが容易な種類を選びました。本物の素材を家に取り入れたく、木だけでなく石も選びました。天然石貼りのテラスや、夫が希望した玄関前の石柱や芝生、ゆったり蛇行するアプローチ、帰った時にホッとできるような夜の明かりの雰囲気が楽しみです。

基礎工事

確認した地縄に基礎が出来上がり、ここに家ができるというイメージが湧いてきました。

地盤改良

軟弱地盤であったため、しっかり柱状改良し、地盤が強化され安心しました。

地縄張り・地鎮祭

敷地内の建物が建つ位置に張ってある地縄を確認しました。更地に縄があるだけだと、こんなに小さいのかと不安になりましたが、建物が出来上がると大きくて驚きますよと営業担当の頼もしい一言。無事に家が建ちますようにと祈りました。

悠楽

お庭のプラン

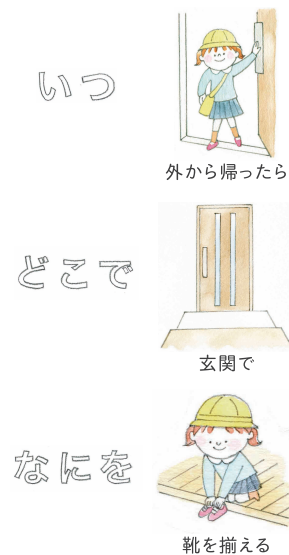
悠楽

お庭のカレンダー

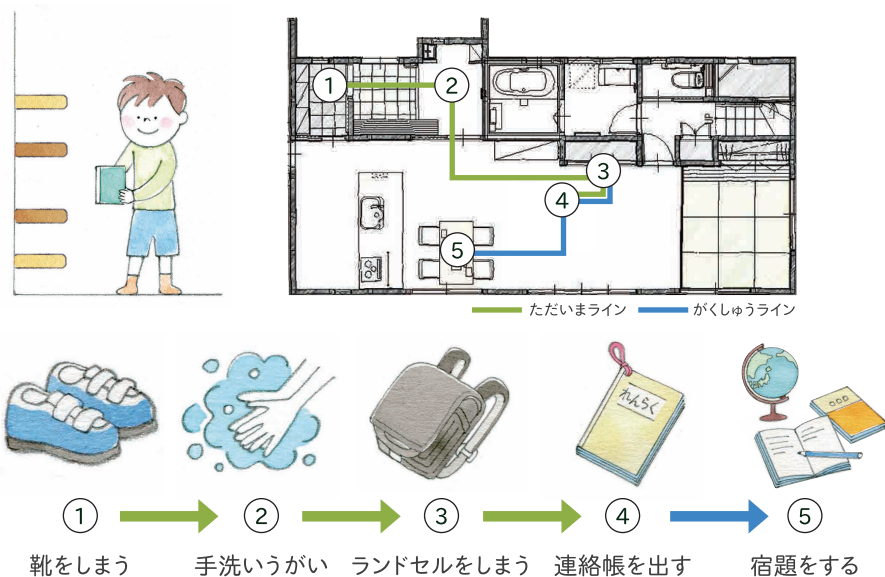
木工事・その他（屋根・外壁・断熱・内部造作仕上・住設工事他）

上棟後は、隙間なく吹付の断熱材が施されていました。アパートから近いので、建築中の様子を毎日のように見に行きました。いつ行っても、現場が美しく整理整頓されており、2歳の娘が歩き回っても安心で安全な現場でした。柱、壁、天井、クロス…と、どんどん出来上がる様子は毎日の楽しみでした。本社の応接室にある矢橋工房のテーブルで毎日ご飯を食べたいと思い、要望したダイニングテーブルや、どうしても入れたかった市松模様の無垢フローリングが施工された時は、ついに！と感動しました。イメージ通りに仕上がり、これで良かったんだ！と満足しました。

家庭内にルールを作る



子ども導線のプラン



リニューアル「招」はRESIDENCE HIRUIでご覧いただけます。

子育てにやさしい工夫がいっぱい！



SHOU
招

「招」シリーズがリニューアルしました！



子どもの「規則正しい習慣」を応援します！

子どもが自分自身でできること。そして、できることを増やすこと。
親子が笑顔になれる工夫がいっぱいの住宅です。

「招」シリーズは、子どもたちを「規則正しい習慣」に導く
動線計画「子ども導線」を取り入れた、子育て生活応援住宅。
例えば、「片付けしなさい」と親が言い聞かせるのではなく、
子どもが自分から「片付けしたよ!」と
「自分でできる」を伸ばす工夫を、住まいの中に取り入れました。
親子がお互いに効率良くなることで、心と時間にゆとりが生まれます。
理想的な親子の環境で、心豊かな暮らしを。

子育て生活応援住宅

子ども導線

子どもがお片付けや整理整頓、学習ができ、
規則正しい習慣を身につけやすいように配慮した動線計画です。
使いやすいアイテムを導入し、子育てを住宅機能が支援します！

ただいま収納シリーズ

子どもたちが「続けやすく・
わかりやすく・使いやすく」を
配慮した収納アイテム

●ただいまクローク



●ただいまクローゼット



●ただいまPOST



昼飯
III

子どもを規則正しい習慣に導く家
3LDK+駐車2台可能+子ども導線(ただいま収納シリーズ)+畳コーナー+ウッドデッキ

SHOU
招

Renewal!

RESIDENCE HIRUI III
SHOU

子育て生活応援住宅
子ども導線

耐震等級 3
長期優良住宅
オール電化仕様
太陽光発電
対応住宅

3,720万円(税込)

1F

2F

敷地面積 239.84㎡ (72.54坪)
施工面積 137.46㎡ (41.58坪)
1F床面積 65.28㎡ (19.75坪)
2F床面積 54.65㎡ (16.53坪)

ウッドデッキ

昼飯
IV

クラシックホテルのような佇まいに住まう
4LDK+駐車3台可能+市松模様 無垢フローリングの応接室

欧

RESIDENCE HIRUI IV
SHOU

耐震等級 3
長期優良住宅
オール電化仕様
太陽光発電
対応住宅

3,750万円(税込)

1F

2F

敷地面積 204.46㎡ (61.84坪)
施工面積 145.18㎡ (43.91坪)
1F床面積 70.11㎡ (21.21坪)
2F床面積 65.14㎡ (19.70坪)

欧シリーズ初の戸建分譲!

Life Information

【交通機関】

■JR美濃赤坂線 荒尾駅…約2,000m
■東海環状線道路大垣西IC…約2,700m

【教育・公共施設】

■青墓幼稚園…約850m
■青墓小学校…約850m
■赤坂中学校…約1,600m
■青墓地区センター…約280m

【金融機関】

■JAにしみの 青墓支店…約1,000m
■十六銀行 赤坂支店…約2,000m
■大垣西濃信用金庫 荒尾支店…約1,400m
■大垣共立銀行 赤坂支店稲葉出張所…約2,100m
■青墓簡易郵便局…約1,100m
■カネスエ敷地内ATMコーナー…約200m

【医療機関】

■金森医院…約1,200m
■大垣セントラルクリニック…約1,700m
■いはらクリニック…約550m
■けやきデンタルクリニック…約850m

【ショッピング】

■カネスエ…約200m
■ドラッグユタカ…約200m
■セブンイレブン…約300m

【公園】

■玉池公園…約1,000m
■辰飯大塚古墳歴史公園…約800m
■赤坂お茶屋屋敷跡…約1,500m
■美濃国分寺跡…約1,800m

岐阜県大垣市昼飯町420番
※ 現地周辺までのご案内になります。機種によって表示されない場合がございます。

RESIDENCE 昼飯■物件概要●岐阜県大垣市昼飯町宇東町419番1～●開発面積/1922.8㎡●総区画数/7区画●今回販売区画数/5区画(内戸建4戸)●敷地面積/196.49㎡～239.84㎡●建物面積/104.34㎡～135.25㎡●販売価格(戸建分譲税込)/3,350万円～3,750万円●(注文建築用土地)/890万円●用途地域/第1種住居地域●地目/宅地●建ぺい率/60%・70%●容積率/200%●道路幅員/6m●水道/公営上水道●排水/公営下水道●ガス/個別プロパン●電気/中部電力●建築確認番号/確認サービス第 KS116-0410-50905他●構造/木造軸組金物工法●取引形態/売主●戸建完成年月/Ⅰ・Ⅱ:2017.4・Ⅲ:2017.7・Ⅳ:2017.8 ※パースはイメージです ※販売価格に家具等は含まれておりません

うるわ
麗しき住環境の創造
～Residence series～

和・悠楽・招・欧
レジデンス昼飯に
4つのシリーズが揃いました

つながるコミュニケーション

お隣と共有する木々

共用駐車場

街のエントランス

ゆるやかなカーブの道

一年を通して美しいお庭

1F

2F

敷地面積 228.03㎡ (68.97坪)
施工面積 123.39㎡ (37.32坪)
1F床面積 104.34㎡ (31.56坪)

和

悠楽

招

欧

昼飯
I

落ち着いた空間でくつろげる平屋
2LDK+駐車2台可能+インナーガレージ+畳コーナー+リビング勾配天井無垢板張り

和

RESIDENCE HIRUI I
NAGOMI

耐震等級 3
長期優良住宅
オール電化仕様
太陽光発電
対応住宅

3,350万円(税込)

1F

2F

敷地面積 228.03㎡ (68.97坪)
施工面積 123.39㎡ (37.32坪)
1F床面積 104.34㎡ (31.56坪)

和

悠楽

招

欧

昼飯
II

空間の悠を楽しむ
4LDK+駐車3台可能+吹き抜け+矢橋オリジナルキッチンカウンター+全熱交換24時間換気システム

悠楽

YUURAKU

耐震等級 3
長期優良住宅
オール電化仕様
太陽光発電
対応住宅

3,400万円(税込)

1F

2F

敷地面積 198.57㎡ (60.06坪)
施工面積 142.07㎡ (42.97坪)
1F床面積 65.42㎡ (19.79坪)
2F床面積 53.83㎡ (16.28坪)

悠楽

YUURAKU



武者小路千家
家元准教授
小林 徹信（雅信）

埼玉県出身・在住。
23歳で京都の武者小路千家の家元のところへ行き、27歳で准教授となる。
お茶をはじめたきっかけは、雰囲気と道具に惹かれて。あらたまところはあらたまり、楽しむ時は気軽に、と減り張りをつけて、これからも皆と共にお茶を楽しみたい。

名古屋ショールーム「三豊居」にて御茶のお稽古を行いたいと考えております。ご興味のある方は、下記のお問い合わせ先まで、ご連絡ください。お待ちしております。



お問い合わせ先
名古屋ショールーム「三豊居」 店長 豊田 悦子 TEL. 052-870-9290



主事業・取扱商品
注文住宅の設計・施工
戸建・マンション・店舗などのリノベーション
オリジナル建材の加工・販売
漆器・家具等の創作・販売

名古屋ショールーム「三豊居」(さんぽうきょ)
TEL. 052-870-9290 営業時間: 10:00 - 18:00
定休日: 水・木(盆・年末年始)
<http://www.yabashi.co.jp/house/>

矢橋林業株式会社
代表取締役社長 矢橋龍宜

心豊かな暮らし

矢橋林業の社内で事業再構築会議と言う会議を数年間行って来ました。現在進行中である事業を、今一度お客様の目線で本来の「あるべき姿」はどうか?という事を建築実務担当者の中からメンバーを集めて建設グループで考えてみました。

弊社の社員諸氏は現在行っている自分の仕事は、先輩社員から引き継いできた仕事であり、間違っているはずはないと考えて仕事をしてきたと思います。しかし、現在、自分が行っている仕事は会社から与えられた仕事ではなく、お客様から与えて頂いた仕事だと言うことを見失っている事が、考えている中で散見されてきました。全ての建设工程をお施主様目線で見直しを実行致しました。そして「お施主様は一生に一回の大事業、品質第一。」という原則を建設工事に携わる全ての人が認識をしなければならない事を再認識致しました。

更に「家」と言う「物」が安心、安全をはじめデザイン、材質等の品質の全てにおいて満足して頂ける事だけではなく、「家」と言う「物」を買うことで、「暮らし」に変化が現れ、「心豊かな暮らし」へと心の向上が最終目的だと考えるに至りました。

住宅建設は建てることを楽しみ、暮らしを楽しめるのが必須条件です。建設会社である我々は最適な提案を、どの段階でも常に用意していなければならないと考えております。建てる楽しみの段階では、快適な暮らしが描けるようなデザインを提案し、心躍るような材料を製造し、且つ最適な価格で提案し、整理整頓清掃の行き届いたムリ、ムダ、ムラのない現場で心を込めて施工し、トータルバランスの優れた「家」を目指す事です。

「心豊かな暮らし」をして頂くのは建設完成後ですので、四季のある日本の景色、日本の文化を感じられる暮らしの提案をさせて頂くことが重要だと考えております。ベーシックな庭からお施主様の好みの庭に発展させていく楽しみを感じて頂ければ施工業者冥利に尽きると 생각합니다。

また、弊社では日本の文化を総合的に表現するのが「茶道」ではないかと考え、社内の茶道倶楽部「招縁会」で稽古を致しております。茶席でお茶を頂くのではなく、暮らしの中に「茶の湯の心」を活かしていくことで大いに暮らしを楽しむことが出来ると考えております。これからも茶道に限らず、「心豊かな暮らし」の材料を提供させて頂きたいと考えております。



心豊かな暮らし
矢橋の家
和
NAGOMI



武者小路千家
家元好み立札卓

ほうえんじょく
方円卓

官休庵千宗守家元に「水は方円の器に従う」という諺から命名頂きました。茶席以外の場で茶を楽しむ雰囲気を作りだす。最も大切な事は一服の茶を楽しむ時を作りだす事だと思います。矢橋工房は官休庵の教える茶の心を立札という形に変えて皆様方にお届けしたいと思っています。

漆
矢橋工房

岐阜県大垣市 F様邸

手をかけて、豊かに育ったお庭

F様は、以前は転勤が多く、マンション暮らしが続いたそうです。矢橋の家を建てられ、庭が持てたことで、土のある暮らしができるようになったと喜んでいただきました。

ご主人が芝刈りや、庭木の剪定を。水やりなど日々のお手入れは、奥様がメインで。ご自身で調べ、肥料をあげたり、こまめな落ち葉拾いを丁寧に取り組みられたため、樹木は大きくなり、豊かなお庭に育ちました。

自然豊かな土地で生まれ育ったという奥様は、自然溢れる庭を見ると心が落ち着くそう。四季の移ろいによって景色が変わる庭を楽しんでいらっしゃいます。



4年後

外観に合う樹形や色。西日が当たる玄関周りには、強い樹種を。手入れが比較的容易であることなど、全体のバランスを考えながら樹木を配置しました。F様の手によって豊かな庭が保たれ、4年の時を経て美しく立派なお庭となってきました。



春夏秋冬、それぞれ季節ごとに楽しめるよう、実の成る木や香りのする花、葉や花の色彩なども考慮し、全部に「お庭のカレンダー」を作成しています。

落葉樹は、夏に葉を繁らせ、日差しを遮り、冬は落葉し光がたっぷりと室内へ入るよう、木を植える場所や、樹種の選定にも気をつかいます。

お庭のカレンダー	花と実の観賞時期												葉の観賞	
	記号：花 (★) 実 (○)													
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	紅葉	常緑
ジンチョウゲ	★											★		
ドウダンツツジ		★												
ヒラドツツジ			★											
クちなシ				★										
ギボウシ				★										
フィリヤブラン						★								
ホソバヒラギナンテン							★							
ツワブキ								★						
オタフクナンテン									★					
ブルーバジフィック														
トクサ														
タマリユウ														

備考1：一般的に観賞時期を記載しているが、生育環境・生育状況・気候変動等により変化する場合があります。

備考2：★・○とは緑色以外の葉をもつものを示しています。

Natural Life

窓から緑が見え、外と中が繋がりを癒してくれます。

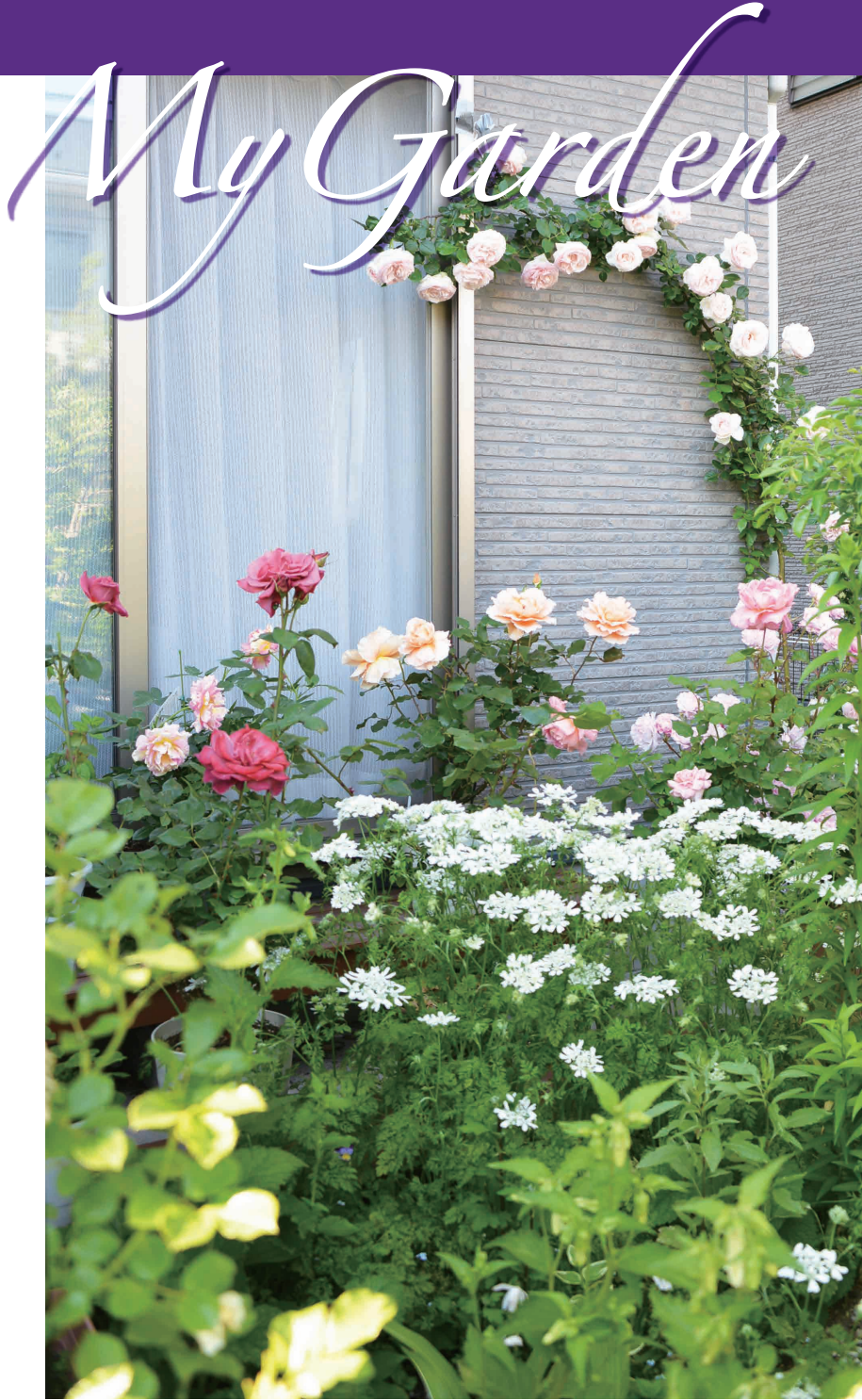
矢橋の家では、庭の自然に触れ、四季の移ろいを感じ、心豊かな暮らしをしていただけるよう、「お庭のカレンダー」を作成し、建物と庭の同時提案を実施しています。

お庭には、自社の所有する山林から幼木を移植し、自然樹形の美しい庭木を入れさせていただいています。

四季折々の樹木だけでなく、お庭で野菜が作れる様、家庭菜園スペースを設け、雨水を利用して水やりができるよう、雨水タンクもお庭に設置しております。

造園工事の終わりが庭の完成ではなく、お客様の手によって、お庭は成長していきます。

今回は、矢橋の家にお住まいのお客様にお庭について伺いました。



岐阜県養老郡 K様邸

大好きなお花に囲まれて心が満たされるお庭

これまで賃貸暮らしをされていたK様。もし一軒家に住むことができれば、大好きな花をいっぱい咲かせたいと、素敵なお庭を思い描き続けておられたそうです。

子どもの頃、お母様がバラを大切に育てている姿を見て、お花が好きになったというK様。今もそのバラを受け継ぎ、バラの花をメインに気に入った季節の草花を集めては植え、コツコツとマイガーデン造りを楽しんでいらっしゃいます。

バラは病害虫に弱く難しいというイメージがありますが、お手入れは大変ではないですか？と尋ねると、「朝夕お手入れをしているので、大変ではありますが、手をかけた分、美しく咲いて心地よい香りで答えてくれるので、心が満たされます」と。矢橋の家の緑豊かな植栽を生かしたセンスの良い庭で花々と触れ合うK様の笑顔が印象的でした。

谷木因(三)

うみゆり連載集 中山道赤坂つれづれの記 故清水 春一

先にご紹介したように、大垣船町の谷九太夫(木因)が寄進して建立された虚空蔵さん参道の道標である丁石(石仏地藏尊像を彫刻し、併せて入山二丁目から十二丁目まで、およそ百メートルごとの間隔で距離を示した石)は、金生山の山麓、赤坂宿場町の入口(子安町観音寺町)から山上の明星輪寺まで、およそ千三百メートルの路傍(道端)に立てられていました。現在遺存して人の目にふれるのは、僅かに六丁目、七丁目、十二丁目のものぐらいでしょうか。年月の経過は、硬質な石造物ですらいつの間にか紛失したり、風化したり消滅していくものであって、絶対的永久保存ということとは期待できないと考えさせられます。

話はさて、つい先年まででありました見晴亭の茶店の辺りが七丁目で、四八〇ページの写真の石仏からおおよそ百メートル登ったところの右側の曲角に、およそ十五センチ角で高さ六十センチほどまで埋まった丁石道しるべがあります。「入山七丁目」の文字が刻まれ、側面に「垣城下若山姓」とある文字が読みとれます。ここに昭和三十二年(一九五七)十二月二日建立の小祠(メートル立方ほどの小さなお堂)があります。

これは谷木因の子孫に当たる谷恒助さん(戦前まで国鉄大垣駅前で、谷九という運送店を経営していた)が祖先の遺徳を偲んで協力され、地元赤坂町元町の奥田吾平さんら有志の人々の奉仕によって建てられたものです。筆者もこのとき些か陰のお手伝いをさせてもらったことが、今となって想い出のこまになっていきます。この小祠の中に石仏が祀られ、改めてこのとき「南無福德地藏大菩薩」と名付けられたのは、やはりいつの時代も人々の心の中に潜む信仰や、宗教的な神仏への依存と祈りの精神性があることを痛感した次第です。

木因の扁額

美濃国垂井の駅の東に広原あり、青野という。一本の松立ちて枝茂ること千歳を越え、葉を双べて緑なり。往昔、朱雀帝東夷やらいの時、南宮金山彦の大神にねがい、此の木に祓いまして、四手(幣)かけし松の名を称せり。さるを長範と聞こえし賊、この木蔭に遠見せしより、世に熊坂が物見の松とは呼ばれたり。驚のぬふてふ(縫つちよつ)笠は、ひとり旅の笠かくし、時鳥

の沓代は駅馬の足たゆげにして、今も黄金の女郎花を野風に奪い、尾花(すずき)が袖を山おろしの刷とるあり、されば勝母の里に車をかえし、盗泉の水に渴をむらしめ給えり例しを思えば阿呼名の名にあらざること、誰か是れを悲しまざらんや。

大切の名を盗まれな 雪の松

宝永庚寅(七年)の秋 白桜下木因書

この文書は宝永七年(七〇)、谷木因の六十五歳のときのもので、先年赤坂町の天理教赤坂教会・長杉崎治男さんが、大垣市立図書館へ寄贈された横ものの扁額でした。またこれと文面に若干の異なりはあるようですが、同様の内容で、ほかにも同じような扁額があると聞いています。実は、この書はあの有名な伝説にある南宮神社のご霊験にまつわる物語なのです。

平安時代の初めころ、天慶の乱(九三九〜四〇年)で平将門を誅伐のとき、将門の首が飛翔してきたのを、逆賊調伏のため三×七=二十一日の祈願をしたところ、その満願の日時に神さまの御利益が授けられたという話です。このとき青野ヶ原(現垂井町綾戸)の一本松(武内宿弥の

墓と伝えられる円墳の上に生い茂る古松)に祈願の御幣を懸けたので「幣掛松」と呼ばれていました。

この後の平安末から鎌倉初期ごろ、名のある盗賊の主領熊坂長範がこの松に上って、街道を往来する旅人を見張らせたので、以来この神霊の験をいただいた尊い松の名前でありながら、長範に、その名前まで盗まれてしまったというのです。

この、大切な名を盗まれて、「長範物見松」が有名になってしまったという伝説を、木因は俳句の前書に詳しく説明しているのです。



明星輪寺参道の小祠



矢橋林業株式会社